

以テ勸誘保護セスハ有ル可ク所詮自
費私社以運輸等ノ便利ヲ興スモノ有ラ
ニヤ是ヲ以幾多ノ船艦ヲ購入シ用
達回漕ヲ王ラシム就中北海艦ハ
元来堅牢ノ製ナルニ猶充分ノ脩治
ヲ加ヘ盡ク整理シ船長益械者ハ煉
熟ノ外國人ヲ乗セ其他水火支ニ至
ル迄精撰敢テ危難ノ患ナキ様厚ク

注意專ラ北海道ノ便利ヲ圖リ箱館ヨ
リ東京大坂ノ際定日ヲ立行旅荷物
ヲ乗載シ自由ニ往來ヲ得セシメ且ツ
海上安寧ノ信ヲ固セシタメ當使定額
金ノ内十萬圓ヲ以テ準備トシ右船エ
荷物ノ非常請負ヲ附ス唯其取扱及ヒ
荷為替金貨渡等ノ事用達ノ社中ニ
ラシメ万一覆没ノ災等有之トモ右

準備ヲ以テ所失ヲ償却シ其荷主ヲ
シテ損失無ラシメントス素ヨリ海
陸運便ニ於テ算スル金額ハ都テ消
糜スヘキ目的ト雖モ漸々民信帰嚮
シテ自費結社ノ舉アルニ及レテハ右
官費官為之請負等ハ一切取止メ候勢
ヒニ可相成奉存候即假規則及ヒ
後来自費結社ノ見込用達トモヨリ

差出候仕込書并御布告案共相
添此段奉同候也

壬申九月廿日

黒田開拓次官

伺
御中

御布告

御布告

市井言

中海に航海し船に付て難破し
 災あり人死危殆ふり此等々船
 開拓傳に於て海上難破濡損は
 舟高き船に仕法を設け同様に
 船より東条大坂若狭より百餘
 運輸相可キ以系歩向むるに
 舟高き船に仕法を設け同様に

但此有為坊者一仕法、亦多土坂
其波多所、何如所、於予、の、水
合身

嘉永元年七月廿七日

本出官

九館縣地方當侵管轄被仰旨、其、
貫屬單家祿外、彼地、收稅額、ヲ、加、將
来、目的、ト、イ、タ、レ、漸、次、小、海、道、各、地、に、散、布
移住産業、ヲ、營、シ、生、計、相、宜、様、所、置、可
致、管、有、之、就、テ、貫、屬、祿、高、入、負、業、取
調書大藏省、ヲ、差、出、候、内、次、三、田、カ、慶、祿
ノ、分、モ、有、之、且、福、島、縣、ノ、轉、管、ノ、者、ヲ、除、キ
其餘當侵管轄、候、モ、ノ、祿、高、ハ、當

八三〇